

戦場に輝くベガ

約束の星を見上げて

星が武器としてではなく、
希望の光として輝ける日が
来ることを祈っています。





70年ほど前、夜空の星が武器になった時代・・・

天文航法^{※1}で陸上爆撃機「銀河」を導く若き偵察員・和夫と、
そのための「高度方位暦」^{※2}を計算する学徒動員の女学生・久子。
二人が見上げるその先には、織姫星のベガが輝いていました。
はなればなれの二人をつないだ約束の星ベガは、今でも変わらずに
夜空で輝き続け、私たちに何かを伝えています。



約束の星を見上げて

戦場に輝くベガ

※1 天文航法

星の高さを測り、飛行機や船の位置を特定する方法。当時使われていた航法（飛行機などを目的地まで適切に導く方法）には、他に地文航法、推測航法、無線航法などがあつた。

※2 高度方位暦

通常天文航法では、機上で天文計算を行うが、戦争末期、技術をもつ偵察員が少なくなる中、計算を行わずして簡易に位置を知るために開発された暦。

この番組は、2006年に山梨県立科学館が制作したプラネタリウム番組「戦場に輝くベガ～約束の星を見上げて」のリメイク版として制作しました。2006年の番組をきっかけに、「高度方位暦」の原

本が戦後はじめて発見され、また、女学生の勤務内容について史実調査が進むなど、当時の様子がより明らかになってきました。リメイク版は、それらをうけ、シナリオの修正を行うとともに、デジタルプラネタリウム対応の演出となっています。



番組時間：約27分

<ナレーション>谷育子、木島隆一、Lynn ほか <考証協力>井上圭典、神野正美 <音楽>小林真人 <テーマ曲合唱>山梨学院大学附属中学校合唱部・山梨県立日川高校吹奏楽部
<音響演出>前島慶太 <イラスト>秋山近史、石本光男 <映像演出>今野利秋 <脚本・演出>跡部浩一、高橋真理子 <制作協力>五藤光学研究所 <著作・制作>山梨県立科学館

問い合わせ先：(株)五藤光学研究所 TEL 042-362-5320(カスタマー営業直通)